

## 式辞

本校生の心のよりどころである大樹クスノキは、今年も、何事もなかったかのように芽吹き、旧来の葉を落とし、新たな新緑につつまれ、いっそう美しいその姿を我々に見せてくれています。

この佳き日に、旭城同窓会会長 島田 好正 様、本校PTA会長 船渡川 学 様をはじめ、多数のご来賓の皆さまのご臨席を賜り、百十五年目の創立記念日を祝うことができますことを、心から感謝申し上げます。これも関係諸機関や地域の方々、そして旭城同窓生の方々の厚い御支援の賜と存じます。ありがとうございます。

さて、ここで、生徒諸君には、佐高の歩んできた歴史について話をします。是非一人一人が、心して聞いてほしい。

地元で師弟を学ばせたい。学校を核として地元を発展させたい。という地域の熱い思いに基づいた、熱心な運動が実を結び、栃木県議会の議決、文部省の認可を受け、佐野の地に県下四番目の中学校、「栃木県第四中学校」が誕生したのは明治三十四年四月のことでした。四月四日と五日には、選抜試験が行われ、十五日に開校式、翌十六日に授業が開始されました。生徒数は百名、今のあしぎん佐野支店あたりの本町地内にあった古い工場跡を仮校舎として本校は産声を上げました。たとえ粗末な教室、教材ではあったとしても、教師、生徒共に、一人一人が未来を見据えた瞳は光り輝いていたに違いありません。

同年十二月三十一日には新校舎が完成し、本町の仮校舎から、天神町、つまり朝日森神社と、佐野城趾の間に位置する、いわゆる旭城の庭たる現在の地に移転して参りました。また、冒頭申したクスノキは、当時植樹されたものであり、まさに本校の歴史の生き証人に他なりません。以来、クスノキに見守られ、また朝日森の天満宮の庇護を受け、開校時の地元の熱い思いを常に見失うことなく、本校は着実に発展して参りました。

昭和二十三年、学制改革とともに新制高等学校として「佐野高等学校」と改称し、昭和二十五年四月には、地域の産業教育の中核であった佐野実業高等学校と統合し、全日制普通科、商業科、農業科、そして定時制にも普通科と商業科、さらに田沼分校に普通科、赤見分校に夜間普通科を置く、総合佐高とも称される「栃木県立佐野高等学校」となりました。特に昭和四十年頃には、二千人以上の生徒数を誇る県内一のマンモス校で、まさに大佐高という名をほしいままにしました。

その後、昭和四十九年、商業科が県立佐野商業高等学校として分離独立し、農業科は、平成八年三月、惜しまれながら閉科をいたしました。また、平成十八年三月には、五十八年間にわたり多くの人材を輩出してきた定時制が閉課程となり、全日制普通科単独の男子高となりました。

そして、平成二十年四月、「『国際人として活躍できる真のリーダー』の育成」を教育目標に掲げ、附属中学校が開校し、中高一貫教育校になったのは記憶に新しく、さらに

この春、文部科学省から、本県初の、スーパーグローバルハイスクール、いわゆるSGH校に選定をされ、更なる飛躍が大いに期待されているところです。

このように本校は時代の要請に応え、幾多の変遷・進化を経つつ、幾星霜を重ねて参りました。現在までの本校の卒業生は、三万余を数えます。開校以来、本校を起点として様々な地、様々な場において、時に郷土の良き指導者として、時に新しい国造りにおける官、民間問わず重要な担い手として、地元佐野市や県内はもちろんのこと、全国各地や世界を舞台として、それぞれの分野で、すばらしい活躍、そしてあまたの業績を残されています。

まさに今、諸君は、このような歴史と伝統ある学舎で学んでいるのです。そして、ここ、旭城の庭で学ぶ者は、佐野氏の流れをくむ者として、敢えて、自らに厳しい生き方を求める「旭城精神」を大切にしなければなりません。古来「旭城精神」は、「質実剛健」「不撓不屈」「文武両道」等の言葉で言い表されてきましたが、この意味深い言葉を単なるスローガンに終わらせてはなりません。この言葉に本物の生命を吹き込むのは、生徒諸君一人一人であります。諸君には、一人一人が、夢を紡ぎ、こころざしを貫き、果敢に挑戦し続けていく愚直な生き方を望みます。

本日の創立記念日を迎えるにあたり、本校で学ぶ、全ての生徒諸君には、ぜひ、本校の輝かしい歴史と伝統と、それを創り継承してきた卒業生たち、そして、本校を支え続けた地域を誇りとして、これからの中学校・高校生活に臨んでほしいと思います。

最後に諸君にもう一つだけ伝えます。

佐高生は単に佐高生であるだけでは全く価値がない。将来佐高を離れたときに、佐高教育の成果を生かし、その価値を一人一人の人生において実現し、社会に何かしら還元できたときに、初めて佐高で学んだ価値が輝き始める。常にそのことを意識し、まさに「旭城精神」をもって知性と品性を大いに磨き、今を、佐高での日々を大切に過ごしてほしい。そして、佐高を誇る人間ではなく、佐高が誇る人間になってほしい。そう、強く願っています。

本校は、保護者、旭城同窓生、そして地域の方々の本校に寄せる大きな期待と愛情により、成長、発展してまいりました。創立記念日に当たり、このことに改めて、心から感謝申し上げるとともに、新生佐高が本高の歴史の輝かしい新たな一ページを飾ることを、在校生と共に、お誓い申し上げて、平成二十八年度創立記念日における校長式辞といたします。

平成二十八年五月十七日

栃木県立佐野高等学校

栃木県立佐野高等学校附属中学校

校長 日向野 勝